

## プログラム (案)

8月20日(月)

(敬称略、演題名は仮題)

9:50-10:00	開会挨拶	
10:00-10:40	CRCに必要なGCPの知識	近藤 直樹
10:40-11:20	治験事務局の仕事	山崎 三佐子
11:20-12:00	IRBの役割	井草 千鶴
13:10-13:50	治験薬概要書の読み方のポイント	久保田 篤司
13:50-14:30	プロトコルの読み方のポイント	野村 守弘
14:40-15:20	安全性情報への対応	寺元 剛
15:20-17:50	被験者への説明のポイント(演習形式)	榎本 有希子

8月21日(火)

9:30-10:10	賠償と補償	水井 貴詞
10:10-10:50	モニタリングと監査	池田 司
11:05-11:45	臨床研究・治験への情報技術の利用	氏原 淳
11:45-12:25	医療機関のCRCの一日(院内調整の工夫)	稲吉 美由紀
13:30-14:10	海外のCRC業務	松嶋 由紀子
14:10-14:50	製薬会社におけるデータマネジメント	小宮山 靖
15:15-15:55	日本製薬工業協会臨床評価部会 2012年の取り組み	日本製薬工業協会臨床評価部会
15:55-16:35	製造販売後調査における注意点	有馬 秀樹
16:50-17:30	依頼者と医療機関とのディスカッション	

8月22日(水)

9:30-10:10	厚生労働省の取り組み	厚生労働省医政局
10:10-10:50	臨床研究に必要な生物統計学の基礎	甘利 裕邦
11:05-11:45	臨床研究の支援	渡部 歌織
11:45-12:25	市販後の臨床研究	本橋 正俊
13:40-14:20	新しい話題	古川 裕之
14:20-15:00	総合ディスカッション	
15:00-15:10	閉会挨拶	

※初日および2日目の講義終了後に、任意参加の情報交流会を開催いたします。